11.29 仁代議員十大会 抗議声明

■ 二里塚「3.26戦」勝利、11.19北富士「反戦」を闘う沖縄返還協定批准実力阻止、関連法案粉砕、佐藤政府打倒へ進撃せよ！

■ イラン・ドンラー中国－朝鮮人民の戸帝統一戦線の前進に応えて日本人民の総力で日帝のマゴマゴ侵略－反革命の最初の破産をかちとれ！

□沖縄人民と団結し 日米帝の再編強化－日韓しゅく清反革命体制粉砕！

沖縄返還協定批准実力阻止！ 関連法案粉砕！ 自衛隊の沖縄派兵実力阻止！

米軍基地撤去！ 米軍再編粉砕！

□在日マゴマゴ人民への民族的抑圧－入管体制を粉砕せよ！

入管法国会再々上程阻止！ 入管体制粉砕！「同化－抹殺」政策粉砕！

□国公私立大学の授業料値上げ実力阻止！

中教審路線の産学協同主導的再編＝日帝の延命策動阻止！

□日韓」台反革命体制の強化粉砕

中華人民共和国承認！ 日「韓」条約破棄！ 日台条約破棄！

あらゆる「二つの中国」策動粉砕！

□米帝をマゴマゴにたたきこめ！

南ベトナム臨時革命政府の七項目提案断固支持！

日帝のサイゴン政府援助粉砕！

行動提起

11.30総評全国ストライキに呼応し 社共の議会内主導を打ち破って

Aの全面と対決する中 ヒラヤマ・ケイカクを決定的に粉砕せよ！

11.30

■ 沖縄返還協定批准実力阻止・関連法案粉砕

入管法国会上程阻止

授業料値上げ阻止

全日本都統一行動 ヒロ正門前にて

12ヒ 全教養集会

2ヒ半 全土木労組集会

3ヒ半 全日本都庁集会

教養部代表

はじめに

教養部のすべての学友諸君、我々は諸君にの11日特別に 24日衆院本会議における沖縄返還協定の強行採決の策動が何であるのかの日本帝国主義、佐藤政府は協定の参院自然承認、関連法案の強行採決を中心に更にそれをもんとこしているのかを我々は11。10北大阪武装制圧を頂点とする これまでの3一の成果をふまえ以上3つの点にわたって クラス討論の深まりをふまえて、「代議員大会において確認」されることをめざす。そしてその確認、とりきめ 我々とともに30ヒフ上、沖縄協定批准実力阻止、関連法案粉砕、入管法闘争に決起し日米帝国主義二行動に決起する中以外 更なる斗いの前進はないところである。

① 沖縄返還協定・関連法案の日米帝のアジア支配の強化、日帝のアジア侵略・反革命の全面的開始のための中心軸である北生沖縄施政権返還ー自衛隊派兵・米軍基地の維持。我々の実力の法的表現であるということを我々はきず確認しなければならない。

これはカイル・ルーエを主題とするニクソン・佐藤会談の共同声明、ベトナム民族解放戦線にするスパイ人の内閣、ベトナム民主共和国首相ファン・バン・ドンと平和人民と和国首相周恩来との「ハノイ会談」における三項目提案を断固支持し、米帝を主イーデオロギーとする。日本軍国主義と日米軍事同盟と対決する」を日帝の内容とする連帯、自動車における人民の決起にみられる インドシナ・中ロ・朝鮮人民の反帝統一戦線の前進に敵対し 本土・沖縄人民を更なる収奪・抑圧の下 アジア侵略反革命に動員をしようとするものである。

日帝・佐藤政府は11月ー12月国会周辺ー首都ー全国主要都市を政治警察ー私服、暴力装置＝杜動隊の制圧下におくことを容認に 国会で協定・法案を採決し 法的・国民的承認をとりつけんとしている。

我々はここに暴力によって次の暴力を合法化せんとする行為に正義の矢を放つことができる。

沖縄人民に 11/10全島ゼネストを頂点に、協定批准阻止・自衛隊移駐阻止・米軍基地撤去の斗いに決起し日米帝国主義の策動に鋭く突きささっており、本土労働者人民は11/19、そして明日30の二波にわたる統一全日スト上におられるようにその怒りを表現している。社共 総評指導部の斗いの去勢にもかかわらず 戦斗的労働者人民は我々とともに決起している。

我々に問われていることは、日帝のアジア侵略ー反革命の策動を暴露し、「日帝による沖縄の侵略前線基地化阻止 協定批准実力阻止 佐藤政府打倒」のスローガンの下労働者・人民の現場からのたたかいとともに、政治警察、杜動隊の壁を突破 粉砕し 杜動隊徴滅戦を斗いとることにより、批准実力阻止 佐藤政府打倒へむかう現実の斗いへと人民の決起を結合することである。

我々と戦線とその旗の下に結集する先進的学友は、三里塚杜動隊徴滅戦の成果を大衆的に踏み固め、10全関西、13、14全国から結集した労働者 学生に斗いの質を提起し、17全関西の戦斗的、革命的労働者とともに政治集会を成功させ、19北大阪武装制圧斗争を奪還した。

一方、社会党・「共産党」、総評指導部は日帝の政治警察・暴力装置に完全に屈服し、討論なしのとりひきの下、「予算通りの強行採決」といった茶番劇を演じ、労働者人民を欺瞞し、日会解散ー総選挙へ流しこもんとしている。なの斗いの不十分性と社共の屈服・去勢の中で、17日斗の強行採決、衆院通過があったのだ。

② 日帝・佐藤政府は協定の参院自然承認・自衛隊派兵・米軍基地維持の内実を規定している関連法案の強行採決をくろみ、自衛隊の沖縄派兵を準備している。更に、三里塚を通じた自衛隊の帝国主義軍隊としての完成化を完了に、在日アジア人民への民族的抑圧＝入管体制の強化、民族差別行政を軸とした管理化しつつ、通常国会への入管法の上程、刑法改悪ー保安処分新設、三里塚第二期工事の強行ー狭山差別裁判での死刑判決、国公私立大学の学費値上ガー中教審路線の実質化、マル生運動等による労働運動の圧殺、「二つの中国」策動等、日「韓」台軍事体制の強化ーアジア侵略ー反革命の全面的開始にもけ、杜力ー社会の再編ー統合に狂奔している。

③ 我々は、我々の斗いの不十分性を克服し、成果をふまえ、沖縄斗争を北海実力阻止、関連法案粉砕そして自衛隊派兵実力阻止にむけ更に発展させねばならない。そして、入管法案国会上程阻止、同化ー抑圧ー追放政策粉砕斗いに決起し、同志社大学における大衆団交をはりその斗いと連帯した授業料斗争等の斗いを軸に日帝のアジア侵略ー反革命と全面的対決せねばならない。

全京都学生統一行動に決起せよ。